

平成30年度12月補正予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
総合窓口支援システム改修事業費	市民課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
11,729	平成 30 年 ～ 31 年度					11,729

<p>【事業の目的】 新本庁舎における総合窓口業務を安定的かつ効率的に行うため、現在運用中の総合窓口支援システムに改修を行い、機能の改善及び向上を図る。</p>
<p>【事業の内容】 ○総合窓口支援システムは、平成28年9月から駅南庁舎で試行運用しているが、検証する中で、自動判定項目の追加やプレ印字化申請書の見直しなど、機能改善が必要となってきたため、改修を行うもの。 ○【総合窓口支援システムの主な機能】 ①プッシュ型サービス…自動判定をもとに、案内票をシステムから発行し、手続きを能動的に案内する。 ②バックオフィス連携…情報の即時連携により、関係各課に該当者の情報と必要な手続きを通知する。</p>
<p>【これまでの関連する取組み】 平成28年9月 …駅南庁舎で試行開始 平成29年10月 …戸籍届出(死亡)で試行開始 平成30年1月 …戸籍届出(出生・婚姻・離婚)で施行開始 ○現在、関係各課と継続的な協議及び調整を実施中。 【総合窓口支援システム関係各課】 ・保険年金課 ・障がい福祉課 ・子ども家庭課 ・地域福祉課 ・長寿社会課 ・生活福祉課 ・徴収課 ・中央保健センター ・建築住宅課 ・生活環境課 ・学校教育課 ・情報政策課 ・市民課</p>
<p>【今後の取組み】 平成31年1月～ 契約締結、システム設計 平成31年8月 システム納品 平成31年9月～ 駅南庁舎で検証、新本庁舎でリハーサルの実施 平成31年10月～ 新本庁舎で本稼働</p>